

団体名	連絡先
渡名喜村立渡名喜幼稚園	TEL : 098-989-2005
	Eメール : youchien@tonaki.ed.jp

1. 実践事項

「主体的に遊びに取り組む子を育てるための環境構成と援助の工夫」

2. 実践内容

(1) 経験から発展した子どもたちの主体性遊び。(砂遊び、石鹸遊び、色水遊び)

(2) 創作劇「おおきなしまにんじん」

3. 説明資料

(1) 砂遊び・石鹸遊び・色水遊びの様子



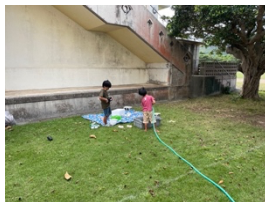
【砂遊び】水を使うと固まることを初めて知る。そこから型を取り何度も崩して遊ぶ姿が見られた。(3歳児)



【泡作り：アイスクリームができたよ】

・初めて泡を作って楽しむ。 ↓
・「どうしたら固い泡ができるのだろう」アイスクリームができた様子。

(4歳児)



【遊びの準備】

・「砂遊びをやりたい」と声上がり、自分達で水を貯め、砂場を準備する様子。

(4. 5歳児)



【色水・見立て遊び：おいしいケーキ】

・緑の色水を作っている様子
・泡にお花をまぶしてケーキに見立てる。

(2) 創作劇「おおきなしまにんじん」



【劇の背景を描こう！】・渡名喜島歴史民族資料館に昔の人の暮らしについての展示があり、そこから渡名喜の義中山には段々畑があったことを知る。 ↓

・シナリオに「ぎちゅやま」をいれ、背景にも義中山の段々畑を取り入れることになった。



【島にんじん作り】

子どもたちは黄色い色、細い形など特徴を捉え一つ一つ丁寧に仕上げている様子。



【振り付けを考える】

歌詞を見ながら、「仲良くは、こんな風にしよう！」と子供同士で意見を出してダンスを完成させている様子。

4. 成果

1学期から道具の使い方や片付け方などを教えることにより、子供同士で協力して準備片付けをすることができた。また、そばで子供と一緒に遊びをすることにより、「やってみたい」をすぐにひろうことができた。

5. 課題

人数が少ないためアイディアが出にくく、一人の意見に左右されることが多い。保育者がアイディアを出してしまうと子供からのアイディアがでない。